

読む・食べる・つながる

「長島大陸食べる通信」 12月創刊

青森県の大間の本マグロがなぜ価値が高いのか。それは、何度も何度も漁師が一本釣りする姿がドキュメント番組で放送されて、マグロと一緒にそのイメージも食えることができるからです。

長島の農業・漁業にも、壮大なドラマがあります。例えば、東町漁協の鰯王。鰯の稚魚モジャコは外海の荒波の中、命がけで捕獲。一匹一匹にワクチンを打ちこみます。

食材付き情報誌「長島大陸食べる通信」では、その過程・思いを食材とともに“かつこよく”お届けします。

あまり知らなかった地元を深く知りたい人や、長島にたまにしか帰れない出身者は、ぜひ手に取ってみてください。

申し込みは検索「長島大陸食べる通信」。

◎問い合わせ先

役場総務課地方創生担当

☎(86) 1111



創刊号は「鰯王」(タイトルロゴなどデザインは最終決定ではありません)

長島町のコラージュ作品完成

町内事業者は無償で二次利用可能

長島町では、町商工会と連携して、日本屈指のコラージュ作家MIO氏による、コラージュ作品を制作しました。これは、全て町内で撮った写真を切り貼りしたものです。

今年、世界遺産になった鹿児島市の仙巖園の安川周作常務は、「仙巖園に置いてあるお土産は全てストーリーがある。持って帰ったときに思わず語りたくなるのが大切」と語られますが、このコラージュも全て説明することができます。その意味で既に飽和したゆるキャラよりも、はるかに面白いものです。

町内に本店または支店がある事業者・団体は、無償で二次利用できますので、商品のパッケージや袋などにぜひ活用ください(ただし作品の改変等できません)。

◎問い合わせ先

役場総務課地方創生担当

☎(86) 1111

長島町商工会

☎(86) 0209



完成したコラージュ作品